

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 35-002

PDCA	事務事業名	医療費未収金対策事業	部課等名	半田病院 事務局 医事課 医事担当	担当	山本	
					内線等	1111	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第3節 健康増進と医療体制の充実					
		基本施策： 3. 半田病院					
		単位施策： (2) 健全な経営の推進					
	根拠法令等	半田市立半田病院の医療費滞納者に対する支払督促等及び強制執行事務処理要綱					
	対象・目的	医療費滞納者に対する早期対応を実施し、未収金の抑制を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	新たに発生した未収金は、翌月から「未収のお知らせ」を始め、督促等を行うことで支払を促す。また、これに応じない滞納者に対しては、法的措置（支払督促）又は、弁護士法人へ回収を委託することで未収金を抑制する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		医療費個人負担分収納額	1,484,496	1,642,226	1,720,317	千円	
		クレジットカード支払額	354,132	428,800	495,670	千円	
		事業費	2,806.0	4,164.0	6,351.0	千円	
		人件費	-	-	-		
		総事業費	-	-	-		
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		医療費個人負担分収納率（全体）	実績値	82.5	87.32	87.79	%
			目標値	87.0	86.46	86.87	
		医療費個人負担分収納率（現年度）	実績値	93.9	99.07	98.85	%
			目標値	97.0	99.08	99.13	
		医療費個人負担分収納率（過年度）	実績値	24.8	26.00	31.74	%
		目標値	35.0	25.47	25.70		
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	B					
		現年度分の未収金については、納付意思が希薄となる前に納付を促すなど、早期対応の取り組みを継続したが、収納率は98.85%で、目標値を0.28ポイント下回る結果となった。これは、高額な交通事故による診療費が未収となったためである。 過年度分の未収金については、平成30年9月から、回収が困難な未収金を弁護士法人へ回収を委託しているが、その成果もあり、収納率は31.74%で、目標値を6.04ポイント上回ることができた。 その結果、全体の収納率は87.79%で、前年度と比べ0.47ポイント増加し、目標値も0.92ポイント上回った。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		現年度分の未収金については、早期に対応することで、未収金を抑制する取り組みを継続していく。また、クレジット収納等の拡充や、自動精算機の導入など、支払環境の整備についても進めていく。そして、回収が困難と判断された患者については、弁護士法人へ回収を委託することで、収納率の向上に努めていく。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		医療費個人負担分収納率（全体）	89.20	%			
		医療費個人負担分収納率（現年度）	99.55	%			
	医療費個人負担分収納率（過年度）	27.03	%				